

# 若い世代からの口腔ケア推進事業

## 1 事業の目的

歯科口腔保健の課題である歯周病（歯肉炎を含む）は、法定の歯科検診制度が整備されていない成人期以降より増加する傾向があることから、若い世代が自ら定期的に口腔管理を行う習慣を獲得することが重要である。このことを踏まえて、若い世代から生涯良好な口腔環境を維持することにつなげるための事業を実施する。

## 2 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

### （1）生活習慣の調査および歯科検診の実施

県内の複数の大学の学生 1,200 名を対象に、歯科医師による口腔診査および歯科保健に関連する生活習慣アンケート調査の実施。

### （2）出前講座の実施

歯科医師が直接、大学等に出向き歯周病予防についての講義・実技指導（ブラッシング含）を実施する。予定施設は（1）の調査及び歯科検診の実施大学。

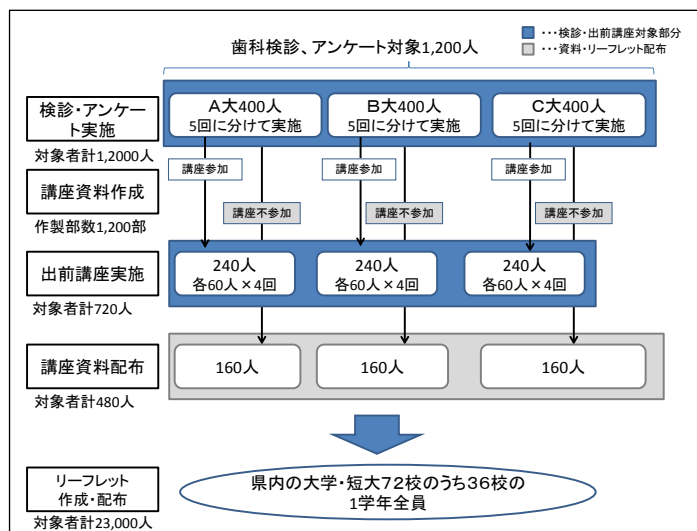
### （3）口腔ケア推進会議の開催（3回開催）

会議内容：調査結果から課題・問題点についての分析、解決策及び出前講座内容の検討、事業報告の検討。

### （4）リーフレット等の作成・配布

リーフレット：県内の大学・短大 72 校のうち希望のあった大学の 1 学年全員

報告書：保健所等



### 【参考 平成 27 年度実績】

対象施設	調査者数	出前講座
愛知医療学院短期大学	73 名	80 名
修文大学短期大学部	435 名	200 名
日本福祉大学	518 名	150 名

# 障害者（児）歯科口腔保健推進研修事業

## 1 事業の目的

歯科関係者が障害者の口腔ケアに関する研修会を受けることで、口腔ケアサポートマニュアル（平成 26 年度作成）の活用を促し、すべての歯科診療所で軽度の障害者（児）が定期的な歯科検診及び歯科保健指導が受けられる口腔ケアサポート体制を構築する。

## 2 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

### （1）研修企画会議 2 回

研修及び研修補助教材の内容の検討

### （2）研修会の開催

対 象： 歯科医師 100 人×3 回（計 300 人）

内 容： 障害者の口腔保健の基本  
定期的口腔ケアへの導入法など

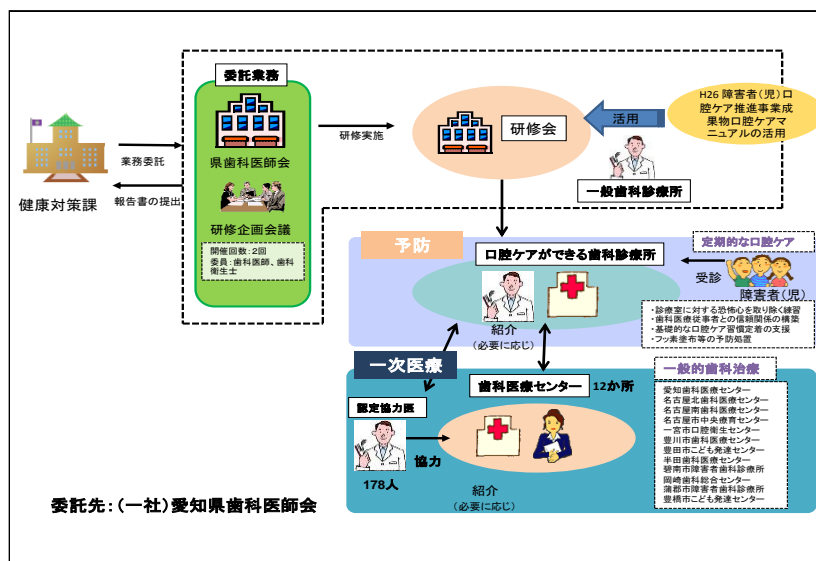
### （3）研修補助教材の作成

作成数： 4,000 部

配布先： 歯科診療所、市町村、保健所等

### <口腔ケアサポートマニュアル>

すべての歯科医療関係者が障害者（児）の口腔ケアサポートに取り組める体制づくりを進めるために歯科医療関係者が障害状況に応じた口腔ケアが行えるよう、サポートするためのマニュアル。



### 【参考 平成 27 年度実績】

研修会	第 1 回 H27. 9. 3 (木) 参加者 88 名
	第 2 回 H27. 11. 12 (木) 参加者 42 名
	郡地区歯科医師会 3 回 参加者 391 名
パネル展示	H28. 2. 20 (土)、2. 21 (日) 吹上ホール

# 成人期口腔ケア推進事業費

## 1 目 的

高齢期における良好な歯科口腔状態の保持に向けた対策推進のため、成人期の歯科口腔状況等について実態調査を行い、結果を元に「愛知県歯科口腔保健基本計画（平成 25 年 3 月策定）」の中間評価や歯周病に関する数値目標の改定に活用するとともに、「口腔保健支援センター」が実施する研修会や啓発活動のための資料として活用する。

## 2 調査対象者

9,600 人 18～65 歳

各年齢の調査数：約 200 人（男性約 100 人、女性 100 人）

## 3 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）協力を得られる事業所において、従業員に無料券を配布し、事業所や自宅から最寄りで受診しやすい歯科診療所で、歯科検診及びアンケート調査を行う。

①歯科医師による口腔診査（う蝕、歯周病の状況、口腔機能等）

②口の健康に関する生活習慣及び意識調査

（2）調査結果の分析

（3）報告書等の作成

協力事業所等向けの分析結果の還元及び啓発のための資料の作成、配布


## 4 協 力

全国健康保険協会 愛知支部

## 5 実施期間

平成 28 年 2 月から平成 30 年 3 月まで（2 年 2 か月）

### 【参考】

	18	22	40	65	75（年齢）
学 生	若い世代の口腔ケア推進事業				
労働者					
市町村住民 （農家、自営業 が主）	歯周疾患検診事業				

# 在宅療養支援歯科医養成推進事業

## 1 事業の目的

県内唯一の歯学部を持つ愛知学院大学において、在宅歯科医療に係る講義及び実習のカリキュラムを開発し、学生及び臨床研修医を教育することで地域包括ケアシステム及び在宅歯科医療に精通した人材を養成する。

5年生、6年生及び臨床研修医に対する講義・実習等を通じ、事業実施期間（2年2か月）中に320人程度養成することで、在宅歯科医療に携わる歯科医師の目標数の確保を目指す。

（本県の在宅歯科医療の状況）

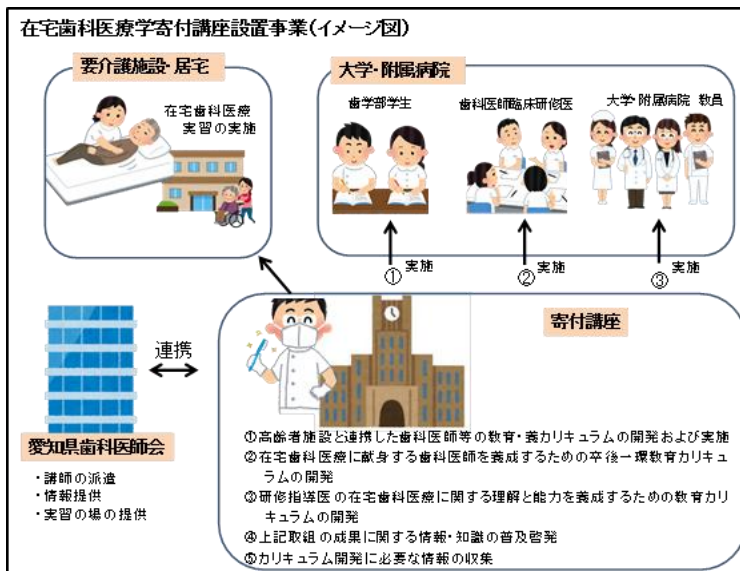
- ・在宅療養支援歯科診療所数（割合）：274施設／3,714施設（7.38%）[H27.3現在]  
→15%（目標値 H34年度 愛知県歯科口腔保健基本計画）
- ・在宅歯科診療設備整備費補助金活用実績：75件 [H21～H26年度]

## 2 事業の概要 （寄附先：愛知学院大学）

次の世代を担う全ての歯科医師等が地域包括ケアシステムを理解し、高齢者の特性等を踏まえた在宅歯科医療（口腔ケア含む）に取り組むため、愛知学院大学歯学部「在宅歯科医療学寄附講座」を開設する。

## 3 事業実施期間

平成28年2月から平成30年3月まで（2年2か月）



### 【連絡先】

愛知学院大学歯学部  
在宅歯科医療学寄附講座  
特任准教授 杉本太造

## 歯科衛生士再就業支援事業

### 1 事業の背景

地域包括ケアの推進に向け、在宅歯科医療と口腔ケアに取り組む歯科診療所の充実と歯科衛生士の人材確保が求められているが、平成 26 年度厚生労働省衛生行政報告例による人口 10 万人あたり就業歯科衛生士数は、全国平均 91.5 人に対し、愛知県は、66.6 人と低い状況にある。

### 2 事業の目的

在宅歯科医療、口腔ケアを推進するために必要な歯科衛生士の人材確保のため、未就業歯科衛生士の再就業を支援するための事業を行う。

### 3 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）歯科衛生士の登録バンク事業

（2）カムバック研修会の開催

歯科衛生士として復職するために必要な歯科医療に関する最新の知識習得やスキルアップを図るための研修会を実施する。

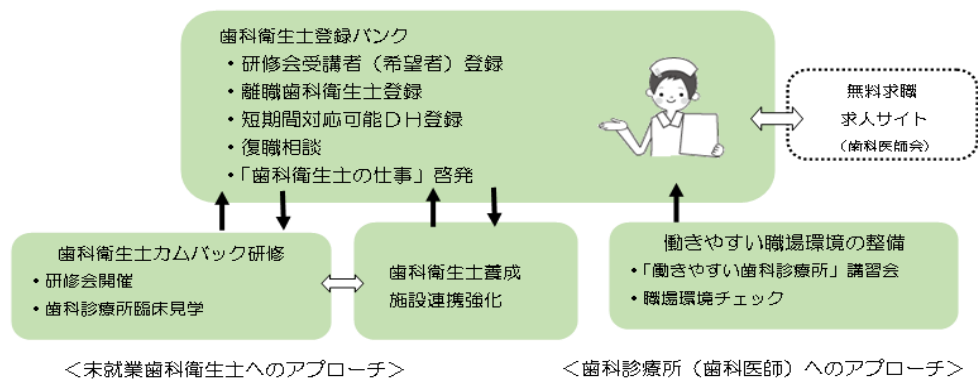
（3）働きやすい職場環境の整備

働きやすい職場環境の整備のため、労務関連の意識改善に関する講習会を実施する。

（4）歯科衛生士養成施設との連携強化

養成施設との連絡会議の開催

歯科衛生士再就業支援事業（イメージ図）



#### 【参考 平成 27 年度実績】

登録バンク事業	登録者数 44 名
カムバック研修会	受講者数 83 名
就業実態調査	被調査者数 歯科医師：1,565 名 歯科衛生士：841 名